

(旧) 県民交流広場 全県オフィシャルホームページ 掲載記事

掲載コンテンツ：リレーコラム

掲載時期 平成 23 年 3 月

テーマ 「港かるた」で地域づくり

寄稿者 豊岡市港地区区長会 港地区公民館長 植垣 正毅

かるた大会に 160 人も参加

港地区公民館が県民交流広場事業として、2年がかりで制作した「港かるた」の第1回大会が2月6日、公民館2階大広間であり、子どもから大人、高齢者を含め約160人が参加し、盛り上がった大会となりました。かるたづくりは、ふるさとの豊かな歴史や文化、恵まれた自然を掘り起こし、すばらしいふるさとに誇り持ってもらうとの狙いで計画したもので、今後、回を重ねていくこの大会は、私たちの“財産”になりました。

みんなで作った「港かるた」

私たちが住む港地区は、日本海に注ぐ円山川の河口部にあり、漁業、農業、観光を産業に円山川を挟んで7集落、約3、100人が住んでいます。ふるさとの歴史と文化、伝承を掘り起こし、後世に継承していきたいとの願いから港かるたを計画。平成20年、21年度の県民交流広場事業として着手しました。

20年6月に「港かるた実行委員会」を設立。メンバーは区長会、公民館役員、高年クラブ役員、地区の古老ら約20人。その下に実際に制作に関わる制作部会を設けて、作業を進めてきました。

読み札の句を区民に呼びかけたところ、文化や歴史、伝承、自然、景観、特産、風俗、芸能など、これはぜひ残ししたいとの熱い思いを込めた題材を詠った約450句の応募がありました。その中から港地区全体に関わるもの、集落に関わるものに分け、その中から45句にしぼりました。

読み札の裏面には、260字でまとめた解説文がついています。45枚の解説文を読めば、ふるさとのことがすべて分かるという訳です。

取り札は、一面が切絵、片面は文字。切絵は地元の作家がデザインした原画を応募で参加した区民が制作。書は地元の書家をお願いした。そんな訳で、外部の力は借りず、地元民で仕上げた手作りかるたです。150人以上の区民が関わって仕上げたことが、私たちの自慢です。

かるたは全戸に無料配布したほか、小、中学校や集落の公民館にも贈り、あちこちでかるた大会が開かれている。

かるたマップを手にするさと探訪へ

港かるたづくりの第2弾として、平成22年度は、「かるたマップ」を制作しました。この2月に出来上がり、これも全戸配布しました。B5判27ページ。各集落の地図上にかるたに登場する史跡や文化財の場所を記してあります。また、45枚の絵札と解説文を掲載。ふるさとが一目に分かるガイドブックになっています。

港地区公民館はこの春からかるたマップを手にするさと探訪を計画しています。